

# 広島市立安佐市民病院広報紙

- 第4号 -

〒731-0293 広島市安佐北区可部南二丁目 1-1

TEL : 082-815-5211 (代)

<http://www.asa-hosp.city.hiroshima.jp>

# まめでが～んす

～ 今日も元気ですよ ～

今、安佐市民病院は  
変わります!!

## 病院機能評価と 電子カルテシステム



皆さんお気づきですか？

院内が少しづつ綺麗になっていくと思いませんか？（建物の古さは別として・・・）

当院では今まで以上に患者様中心の医療を展開する事を目指して、2つの大きな事業に取り組んでいます。その一つは病院機能評価受審で、もう一つは電子カルテの導入です。

この2つの事業についてご案内します。

### 【病院機能評価とは】

病院とは本来患者様の療養のために存在する施設です。その本来の患者様への医療サービスの提供が適切に行われているのか、療養の環境が十分に思

者様に配慮された形に整備されているのか等、患者様中心の医療体制が整っているのかを病院機能評価機構に審査していただき、お墨付きをいただくというものです。

この受審をまたとないチャンスと考え、院内の各部門が力を合わせて今一度自らの状態を見直し、不備な点については改善を図る決定をいたしました。

病院機能評価受審に際しては建物および設備の改善はもちろんのこと、もっとも重要視されるのは職員の意識の改善です。私たち職員自らでは気がつかないことも多々ございます。その点は『皆様の声』というご意見を伺う箱も用意させていただきました。日頃の受診の際のお気づきの点については是非ご意見をお寄せ下さい。



### 【電子カルテとは】

電子カルテとは読んで字のごとく紙のカルテを電子化することです。つまり従来のカルテをコンピュータ化し、患者様の情報などを電子媒体で各部門が共有し、合理化を図るものです。カルテを電子化するということは見識性、真正性、保存性に優れているといわれ、院内各部門間の伝票等による指示、連絡などが無くなり、迅速性も期待されます。

電子カルテ導入の患者様への最大のメリットは医療スタッフ間の連携ミスによる医療過誤や事故が減少する事、さらにカルテ開示などの際にも対応が可能となり、きめの細かい医療サービスの提供が期待されます。もちろん電子媒体の利用であり、患者様に関する情報のセキュリティには最大限の配慮を行ってまいります。

今、安佐市民病院は変革の時を迎えております。これからも今まで同様、皆様と共に歩む地域医療の中核病院として職員一丸となり切磋琢磨してまいります。

# 知ってますか？ 糖尿病

内科部長の  
小田 清です



## 【糖尿病とは？】

みなさんは糖尿病という病気をご存知でしょうか。生活習慣病のなかでも代表的な病気ですから知っている方も多いと思います。

血糖が高くなるのが特徴で、治療をしないと様々な合併症を惹き起こす病気です。放っておくと、眼がわるくなって、ひどい人になると失明したり、また、腎臓が悪くなって、人工透析や腎移植をしないと生きて行けなくなる人もおられます。

動脈硬化も進行しやすく、心筋梗塞や脳梗塞(アテネオリンピック、野球の日本代表監督が最近なったので有名)を起こしやすくなることも知られています。

しかし、病気になるにたての頃は、特に症状が無いことも多く、治療する意欲がわかない方も大勢いらっしゃいます。

みなさんの中にも、健康診断などで糖尿病だと言われ、「なぜ?」と知っている方も多いのではないのでしょうか。ところが、症状も無く、合併症の無い糖尿病になつたばかりの時期が、糖尿病の治療に一番重要な時期なのです。

## 【糖尿病の治療】

### (糖尿病は治るの?)

糖尿病にはいろいろなタイプがあります。ほとんどの糖尿病には根治療法がありません。医師としては残念ですが、患者さんに「あなたを治してあげる。」とは軽々しく言えないのです。

糖尿病の治療は一言で言つと「血糖をコントロールして合併症を予防する。」ということです。そのための方法(治療)としてあるのが、食事療法、運動療法、薬物療法です。食事療法は、患者さんにとつてつらいものですが、残念ながら、この治療無しに血糖をつましくコントロールするのは困難です。

### 【食事、運動、そして薬】



糖尿病になつた人は、最初に食事療法について十分に学ぶ必要があります。最初はつらいのですが、慣れてくるとつましく行くようになります。

食事療法に加えて、運動療法をすると血糖コントロールはさらに良好となります。食事療法、運動療法を十分おこなつても血糖コントロールが良くならない人には、薬物療法が必要です。「クスリ」というと、副作用が気になって、使いたくないという人

ももらえるでしょう。しかし、血糖を高いまま放っておくと、何年かすると、必ず、何らかの合併症に悩まされます。十分に検討され、ひどい副作用の少ないものが、保険薬として認可されています。

### 【糖尿病と仲良く付き合う】



食事療法、運動療法を十分行なつても血糖コントロールの良くならない方は、その人の努力が不足しているわけではないのです。副作用の無い薬はありません。副作用に十分注意しながら、まずは薬物療法をやつてみるほうが良いでしょう。

糖尿病は面倒くさい病気ですが、うまく付き合えば、「健康な生活」をおくれます。

「一病息災」といえるのでしょうか。

医学の発達は見覚しいものがあります。先ほどは、糖尿病に根治療法は無いと書きましたが、十年後には治るようになるかもしれません。その日が早く来て欲しいと願っております。



安佐市民病院では糖尿病教室を行なっています。どなたでも参加できます



# 日曜夜間小児救急の現状

## 中央処置室

看護師 越道 香織  
看護師長 和名谷 まり子



### 【日曜夜間小児救急外来の開始】

安佐市民病院では、地域の皆様の小児救急への「要望」に心えるために、平成15年8月より日曜夜間小児救急外来を開始しました。日曜日の18時から22時まで、小児科の医師が2名で診察を行っています。看護師は3名で対応しています。

開設から平成16年7月までの1年間で1384名、1回平均26.6名にものぼる方が受診されました。地域別にみますと、安佐北区64%、安佐南区26%と安佐市民病院近郊を中心とした患者さまが受診されています。

### 【アンケートの結果】

日曜夜間小児救急外来を受診された患者さまに行ったアンケート結果(平成15年8月~平成16年7月)を報告します。

**1 小児救急外来を知ったきっかけ**  
小児救急外来を知ったきっかけは公共のメディアが37%と3割以上でした。次いで「安佐市民病院に電話して確認」22%、「知人」14%、「当院の利用経験がある」11%でした。

### 2 当院を選択した理由

当院を選択した理由は「住まいに近い」が50%と半数を占めています。次いで「総合病院で安心」23%でした。当院通院中の患者さまは10%であり、患者さまの多くは日頃はおかかりつけ医をもっているらしいことが伺えました。

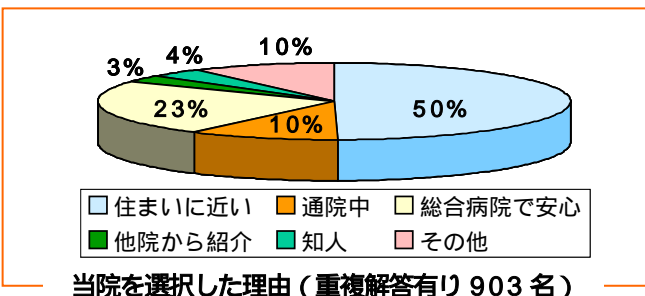
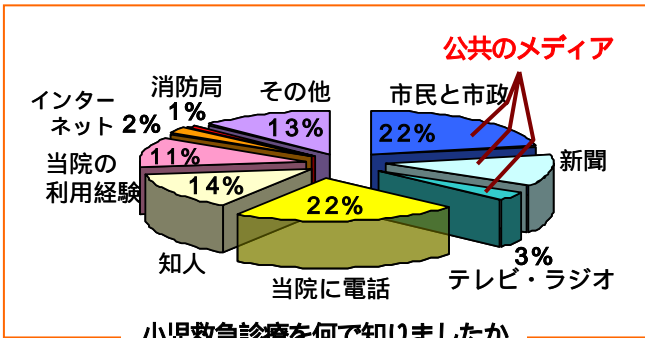
**3 受け付けから診察までの待ち時間**  
約80%の方が30分以内に診察が終了しています。小児科の医師2名で診察を行っていますが、患者さまが一度に多く来院された時、待ち時間が長くなっています。

### 4・病気・検査・治療についての説明

9割以上の患者さまは「理解できた」「だいたい理解できた」と答えられており、短い診察時間の中でも、適切な説明を受けておられる事がわかりま

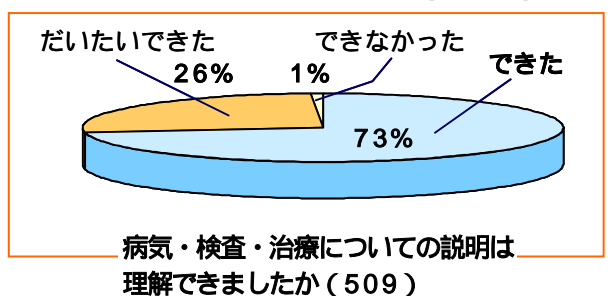
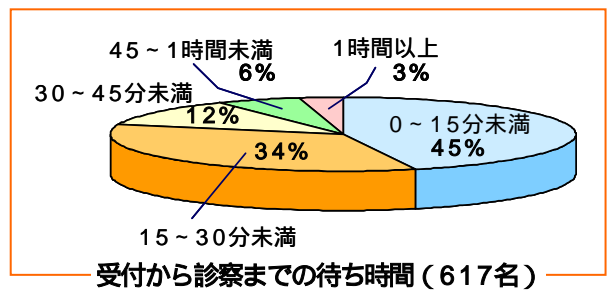
す。しかし、説明が理解できなかった患者さまの意見として「説明があつたのか?と思う」、「様子をみると言われても安心できない」、「医師がアバウトだった。点滴をするにも親任せで困った」等が寄せられています。

これらの意見を真摯に受け止め、今後、患者さまが納得のいく説明をおこなってまいります。



**【最後に】**  
日曜夜間小児救急が開設され1年が過ぎました。私たち安佐市民病院の職員はこれからも、もつと地域の皆様のニーズに応えることができるよう、患者さまひとり一人の立場に立った医療を提供していきけるよう努力してまいります。

最後になりましたが、アンケートにご協力いただきました皆様、あらためてお礼申し上げます。



知って得する

# 総合相談室の耳寄りな話



～高い医療費、どうしよう?～

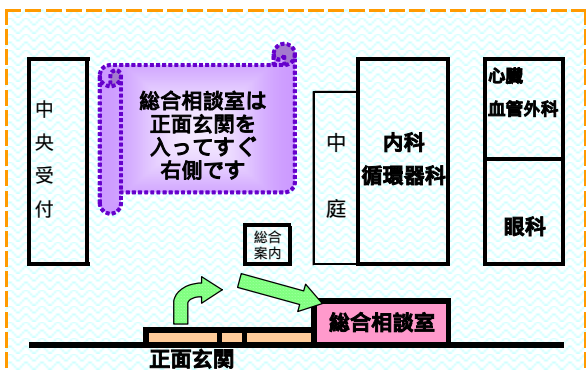
広さん：「島さん、どうしたん?元気がないねえ。」  
 島さん：「いやあ。こないだから胃の具合が悪いよ。病院へ行ったら医者がしばらく入院しなさい言うんよ。」  
 広さん：「えー!!あんな家は子供がようけおるし、島さんが入院したら大変よ。」  
 島さん：「そうなんよ。入院費や生活費はいったいどうしたらええんじやろう...。」  
 広さん：「まあ、ちょっと待ちんさい。あんた社会保険じゃろ?治療費は高額療養費っていう制度があって、1ヶ月72,300円を超えたら、後から払い戻しがあるんよ。それに生活費は傷病手当金っていうのがあって、病気で仕事を休んだ間は、だいたい給料の6割くらいがもらえるんよ。」  
 島さん：「へ～そうなん。そりゃあ助かるねえ。けど、家には貯金もえっとないし後から返ってくるゆうても、たちまち治療費を準備せんといけんじゃろ?長いこと入院したら大変じゃあ。」  
 広さん：「いっぺんに払えんときは、高額療養費貸付制度っていうのがあって、後で返してもらう分の8割程を無利子で貸してもらえるんよ。それにずっと72,300円以上払い続けんといけんかったら、4ヶ月目から40,200円に下がるんよ。」  
 島さん：「へ～それなら助かるねえ。けど、今不景気じゃけえ入院したらクビになってしまうかもしれん。そうしたら生活費がどうにもならんよ。」  
 広さん：「クビになったら困るねえ。でも傷病手当金は辞める前に1年以上続けて社会保険料を納めとったら、もらい始めた日から1年6ヶ月経つまでは続けてもらえるんよ。」  
 島さん：「はーそりゃあええ制度じゃねえ。じゃけど、なんで広さんそんなによく知とるん?」  
 広さん：「えへへ...こないだ入院したときに総合相談室の医療ソーシャルワーカーに教えてもらうたんよ!」

是非ご利用ください  
 今回の社会保険を利用した制度について紹介しました。病気になるといろいろ心配事が出てきますよね。総合相談室では医療費、生活費、その他のことについて相談に応じています。

高額療養費は病院に支払う医療費が1ヶ月に限度額を超える場合、超えた金額が戻ってくる制度です。限度額とは...

区分	患者負担限度額
上位所得者	139,800円 + (かかった医療費 - 466,000円) × 1%
一般	72,300円 + (かかった医療費 - 241,000円) × 1%
非課税	35,400円

\* 上位所得者とは国民健康保険料の算定の基礎となる基礎控除後の総所得金額等が670万円を超える世帯になります。



安佐市民病院の理念と基本方針

理念

- ・愛と誠の精神をもって医療を提供します。
- ・地域の基幹病院として高度の医療・ケアを行います。

基本方針

1. 患者様の立場を尊重し、理解と納得に基づいた医療を行います。
2. 安全な医療と快適な療養環境の提供に努めます。
3. 地域と連携し、地域医療、緊急医療、トータルケアの水準の向上に努めます。
4. 最新の医療にとりくみ、医療・医学の進歩に貢献します。
5. より良い医療サービス提供のため、健全な病院運営に努めます。

患者様のための  
ボランティアコンサート

ボランティア演奏者「愛恵(まなえ)音楽館」を紹介します

「愛恵音楽館」は、20代女性三人によるピアノ、フルート、クラリネット三重奏のグループです。「愛恵」という名前の由来は、初代の篠塚愛さんと高木恵さんのお二人で始められ、それぞれの名前を取って「愛恵(まなえ)」と名づけたとのこと。  
現在は、高木恵さん(ピアノ)、宮原律さん(フルート)、清水美帆さん(クラリネット)の三人で活動されています。



三人とも広島市内にあるエリザベト音楽大学出身で、学生時代から共に学び共に活動を重ねてこられた仲良しさんです。現在はそれぞれ社会人として働いていらっしゃる傍ら、時間を作って三人で集まり「愛恵音楽館」としてあちらこちらで積極的に活動していらっしゃいます。

当院においては3年ほど前から春・夏・秋・冬と年4回定期的にボランティアコンサートを開催していただき、クラシックはもとより映画音楽、アニメ、歌謡曲まで幅広く演奏され、患者様には大変喜んでいただいています。ロビーいっぱいこの三重奏のハーモニーが優しく響き、心も体も癒されるひとときが送れます。



次回コンサート予定

平成16年10月28日(木)  
午後4時30分  
場所：正面玄関ロビー





## ~ もみじ狩り 献立 ~



秋も深まり、紅葉がきれいな季節となりました。紅葉を觀賞して歩くことを狩りに例えて、もみじ狩りと言っています。



<お献立>

- 吹き寄せごはん
- 魚のもみじ揚げ
- 風呂吹き大根
- 柚しめじ
- 吸い物

計 807kcal



病院食にアメニティーをもとめて

入院中に潤いと季節感を味わっていただくために四季折々の行事食をおこなっています。

入院中にお誕生日を迎えられた患者様には、当日お誕生日ケーキを、病状により食べられない方には、お花をお届けしています。また、お誕生日が還暦や喜寿などの長寿の祝いにあたる場合には、長寿食の祝い膳（赤飯、鯛の塩焼きなど）を夕食時にお出しし、患者様に大変喜んでいただいています。



当栄養室では、1回約460食（特別食は約40%）を提供しています。病院食は医療の一環です。「医療の質」を確保しながら、患者様の満足度を高めることができるように、これからもよりよい食事の提供をおこなっていきたいと思います。

栄養室